学びスクエア　NIE 考えるいま・未来

# 「批判」の価値・意義考えて

「NIE」をご存じですか。「Newspaper in Education」の頭文字の略称で、「エヌ・アイ・イー」と読みます。「教育に新聞ひいては新聞社を役立てる」活動をいいます。本社NIE事務局には全国の小中高校から出前授業の依頼が寄せられます。昨年度は東京本社管内だけで約50件の授業がありました。単発が大半ですが、複数回の授業を受けもつ学校もあります。都立成瀬高校（町田市）の場合を紹介します。

今年度、１年生の「総合的な探究の時間」で企業や自治体などと連携。生徒みずから実社会の課題を設定し、解決法も探ろうというもの。７グループあるうち「新聞作成に関するプロジェクト」でNIE事務局が協力しています。

年22回の授業を通じて新聞づくりに不可欠な「批判」の価値や意義を考えてもらうことが狙いです。８月には事務局スタッフが講師で登場、記者経験を踏まえながら「批判とは望ましい社会のため、現状では足りない点や不合理な点を指摘する原動力、エンジンにほかなりません」と40人の生徒に訴えました。

受講した元沢彩羽（いろは）さんは「ものごとを評価したうえで欠陥やまちがいを指摘するのが批判で、ただ単に人を傷つける誹謗（ひぼう）中傷とは違うことがはっきりとわかりました」。学校側のプロジェクト担当、山川智史教諭は「『理想を実現するために批判がある』という話は『批判的精神』を考え直す良い機会になりました」と振り返りました。

「批判」精神も生かし、生徒たちは今秋以降「成瀬地区（町田地区）の課題を探る一魅力をさらに高めるために」をテーマに取材を本格化させます。

◇出前授業のご相談は朝日新聞社NIE事務局（03・5540・7870）まで。

© 朝日新聞社　無断複製転載を禁じます。
すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。